

対人スキルの柱19

エミアブルタイプへの正しい質問法

●エミアブルタイプ (温和型 / 協調派)

- 親しみやすい
- 慎重で穏やかな性格
- 平和主義



■著作権について本冊子と表記は、著作権法で保護されている著作物です。本冊子の著作権は、発行者にあります。本冊子の使用に関しましては、以下の点にご注意ください。

■使用許諾契約書本契約は、本冊子を入手した個人・法人(以下、甲と称す)と発行者(以下、乙と称す)との間で合意した契約です。本冊子を甲が受け取り開封することにより、甲はこの契約に同意したことになります。

1. 本契約の目的: 乙が著作権を有する本冊子に含まれる情報を、本契約に基づき甲が非独占的に使用する権利を承諾するものです。

2. 禁止事項: 本冊子に含まれる情報は、著作権法によって保護されています。甲は本冊子から得た情報を、乙の書面による事前許可を得ずして出版・講演活動および電子メディアによる配信等により一般公開することを禁じます。特に当ファイルを第三者に渡すことは厳しく禁じます。甲は、自らの事業、所属する会社および関連組織においてのみ本冊子に含まれる情報を使用できるものとします。

3. 損害賠償: 甲が本契約の第2条に違反し、乙に損害が生じた場合、甲は乙に対し、違約金が発生する場合がございますのでご注意ください。

4. 契約の解除: 甲が本契約に違反したと乙が判断した場合には、乙は使用許諾契約書を解除することができるものとします。

5. 責任の範囲: 本冊子の情報の使用の一切の責任は甲にあり、この情報を使って損害が生じたとしても乙は一切の責任を負いません。

今回はラストの**エミアブルタイプ**！
最後まで気を抜かずに頑張りましょう！

ではいきます！

◎一緒に考えてもらうスタンスで

エミアブルタイプは優柔不断なので
意見を完全に委ねてしまうと
相手へのプレッシャーになってしまいます。

決断が苦手なので、たいていの場合は
リーダー的ポジションには向かないタイプ
ということを念頭に置いておきましょう。

そんなエミアブルタイプに対して
質問しなければならない場面では、

「困っているのと一緒に考えてほしい」
というスタンスでの質問がオススメです！

◎第三者の意見を提示するのもアリ

「一緒に考えてもらおう」と言っても
まだまだプレッシャーになってしまうのが
エミアブルタイプの特徴。

部下であるこちらとしては
一緒に考えてもらいたいと言いつつも、

やはり上司の率直な意見が
必要な場面もあるはず。

そんなときは第三者の意見を
伝えてみましょう。

「△△さんはAの方法が、
××さんはBの方法が良いと
おっしゃっていて～～」

第三者である△△さんや××さんは
このように言っている、という情報が

エミアブルタイプにとっては
冷静な判断を取り戻すきっかけになります。

◎まとめ

リーダーに不向きなエミアブルタイプが上司であったとしても、

仕事においては何かを判断する上で
上司の判断を仰ぐことは避けられないことも
多かったりします。

そんなときはぜひ今回の方法を使って
エミアブルタイプの上司と**良好な関係**を
築いていってくださいね！